

三本木中

景観や防災意識を高める



👉 これがイチオシ

全生徒で同じ数学問題

三本木中学校では週2回、帰りの会の前に10分間の「ワンランクアップ学習」に取り組んでいます。

全校生徒が数学の同じ問題を解きます。問題は基本的な計算が中心です。

2、3年生にとっては、復習の良い機会となっています。また、1、2年生にとっては、教室に教えに来てくれる3年生を、身近な先生として頼ることができ、ワンランクアップすることができます。3年生にとっても後輩に教えることで、さらに理解を深めることができます。

学校名 大崎市立三本木中学校
所在地 大崎市三本木字鹿野沢78の2
創立 1947年
電話 0229(52)3056
校長 新田 努
生徒 191人

三本木中学校では、鳴瀬川周辺のごみ拾いを生徒会執行部が中心になって行っています。活動を通じて防災、特に洪水に対する地域の取り組みに興味を持ち、大崎市三本木総合支所地域振興課の方にお話を伺いました。三本木地域では、雨による浸水被害が多く、昨年7月の大雨では通行止めや土のうの設置を行い、被害の軽減に努めたということでした。川がたくさんあることは、農業用水源としての利用、美しい景観の形成、交流の場といったメリット

トがある一方、大雨や台風によって生命や財産を脅かされるといったデメリットがあるとおっしゃっていました。三本木地域では昭和61年から毎年、鳴瀬川と多田川の清掃活動「ラブリバー大作戦」を行っています。私たちも地域の宝である河川を守っていく意識を持って取り組んでいきたいです。今回の取材を通じて、「自助」「共助」「公助」のポイントを忘れずに、日頃から防災の意識を持つことが大切であると改めて思いました。



河川のごみ拾いをする生徒たち

編集委員 佐々木カンナ、三塚理緒(3年) 鮫島遙(2年)
指導教員 武山あかね、菅原久美子

鳴瀬・多田川の清掃活動



次回は
松島五小(松島町)
広陵中(仙台市)

きずなを深め地域に笑顔

八本松小



👉 これがイチオシ

妖精8人と楽しい生活

八本松小学校には「ハッピー」というマスコットキャラクターがいます。創立50周年を記念して4年前につくられた8人組の妖精です。本が好きな「ブックン」、体育が好きな「タックン」のように一人一人特徴を持っています。かみ形は学校の名前にもある松の木をイメージしています。

1年生を迎える会やあいさつ運動といったさまざまな行事で、子どもたちがハッピーに扮しています。これからもハッピーといっしょに楽しい学校生活を歩んでいきたいと思っています。

学校名 仙台市立八本松小学校
所在地 仙台市太白区八本松1の16の1
創立 1968年
電話 022(248)3930
校長 田中 孝子
児童 420人

春と秋にあいさつ運動

八本松小学校では、春と秋にあいさつ運動に取り組んでいます。3、6年生の代表委員と、5、6年生の計画委員が中心となり、学校の中庭や広瀬川の河原で行っています。低学年でも気軽にできるように、八本松小のキャラクター「ハッピー」になりきってあいさつをするという工夫もしています。最初はなかなか返せない人もいましたが、慣れてくると、大きな声でこたえてくれる人や、自分からしてくれる人も出てきました。

元気ではつらつとしたあいさつが飛びかうことで、学校がどんどん明るくなっています。本年度の八本松小のスローガンは、「きずなを深める。笑顔のかけ橋。八本松」に決定しました。あいさつを通して、児童同士のきずなを深め、地域と学校の笑顔のかけ橋になれるように、「自分からあいさつできる八小っ子」を目指してがんばっていきます。そして、あいさつ運動というすばらしい伝統をこれからも大切に受け継いでいきたいです。



あいさつ運動に取り組む子どもたち

編集委員 松川莉希、吉田莉央、佐藤明音、佐藤星那(6年) 関優介、佐藤惟香、奥山すみれ(5年)
指導教員 赤松琉偉